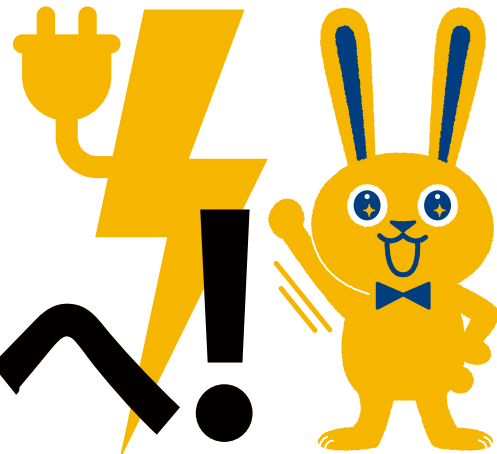




電気代値下げの 公約実現へ!



令和4年度第2次補正予算が、12月2日(金)に成立しました。国民民主党は、本補正予算に参院選の公約「電気代値下げ」が盛り込まれたことをはじめ、消費と経済を活性化し、国民生活の回復を推進していく対策が含まれていたため賛成しました。

一方で、今回の補正予算に盛り込まれなかった一律10万円のインフレ手当などを内容とした組み替え動議(詳細右下)を提出しましたが、他党の反対で否決されました。

6/26 参議院選挙

消費者が直接値下げを実感できる「再エネ賦課金の徴収停止」による値下げを提案

10/20 岸田総理に申し入れ

電気代の値下げをはじめとする物価高騰対策・需要不足対策を岸田総理に申し入れ



左から、田中けん国会対策副委員長(衆議院議員/静岡4区)、榎葉賀津也幹事長(参議院議員/静岡県)、岸田文雄内閣総理大臣、玉木雄一郎代表(衆議院議員/香川2区)、浜野喜史副代表(参議院議員/全国比例)。申し入れには磯崎哲史副代表(参議院議員/全国比例)も参加しました。

12/2 予算案可決 令和4年度第2次補正予算 政府案

値下げした分の金額が電気料金の明細書に記入され、消費者が値下げを実感できる方法で値下げを実施する方針

実現!

- CEV補助金※の延長
- 災害対策予算の計上 など

※クリーンエネルギー自動車補助金

今回の補正予算案には、国民民主党が10月20日に総理に直接申し入れをした内容が盛り込まれています。

引き続き求めること

- ①10万円の現金給付(インフレ手当)
- ②ガソリン減税(トリガー条項凍結解除)
- ③電気代値下げ(FIT賦課金※徴収停止)
- ④LPガス使用世帯補助

※再生可能エネルギー発電促進賦課金

また、追加歳入として外為特会の一般会計への繰入についても提案し、法案も提出しました。

国民民主党は補正予算の採決に先立ち、物価高騰が国民生活を直撃していることを受け、消費者負担を速やかに軽減するために上記を含む予算措置を講じる組み替え動議を提出しましたが、否決されました。引き続き、政府与党に求めています。

声明「第2次補正予算について」



新たに2法案を提出しました。



「所得制限撤廃法案」(10月3日提出)、「総合経済安全保障法案」(10月18日提出)、「再エネ賦課金停止法案」(10月24日提出)、「国葬法案」(10月28日提出)に続き下記の2法案を提出。国民民主党が今国会で提出した法案は6つになりました。

11/17 調査研究広報滞在費の使途公開にかかる法案

法案の概要

国会議員に月100万円支給される調査研究広報滞在費(旧文通費)についての法案です。具体的には調査研究広報滞在費の収支報告書を提出、公開するほか、費用が残った場合は返還することを定めています。国民民主党では調査研究広報滞在費の透明性を確保するため、HPで報告書を公表することや年度末に残った金額の返納といった党独自のルールを設けています。



法案について詳しくはこちら



11/30 外為特会繰入法案

法案の概要

外国為替資金特別会計(外為特会)から一般会計へ繰り入れる特別措置を定める法案です。元々、外為特会は為替相場の安定のため、急激な変動時の為替介入などに備えて設けられています。現在、急激な円安ドル高によって外為特会は円ベースで膨張していることが指摘されています。国民民主党はこうした円安における外為特会の運用状況を鑑み、公債発行に代わる財源として有効活用することを主張しています。



法案について詳しくはこちら



全国キャラバン、残り4県!

12月10日(土) 鳥取県
12月11日(日) 岩手県
12月17日(土) 山形県
12月18日(日) 和歌山県

※予定は変更になる場合があります。
※詳細は各県連にお問い合わせください。

みなさんの声を直接お聴きするため、玉木代表とともに党所属国会議員が全国47都道府県を回っています。

最新のスケジュールはこちら



党员・サポーターを 随時募集中!

国民民主党では、わたしたちと一緒に「新しい答え」を作っていただける党员やサポーターを随時募集しています。



お申し込みはこちら



みなさんをつながるサイト「チームこくみんうさぎ」

党の活動に参画できていると実感できる仕組みづくりの一環として開設した「党と支援者がつながる情報サイト」の名称がみなさんからの応募・投票の結果「チームこくみんうさぎ」に決まりました!

このサイトでは全国各地で実施と予定のイベントやボランティア情報を掲載し、みなさんがより党とつながることができるようなサービスを提供します!



若者のための共創プラットフォーム 「こくみんキャンパス」もスタート

国民民主党青年局は、学生や若年世代との交流の活性化をめざし、若者のための共創プラットフォーム「こくみんキャンパス」を「チームこくみんうさぎ」サイト内に開設しました。さまざまな活動を一緒に進めて盛り上げていきましょう。



浅野哲青年局長
(衆議院議員/茨城5区)

「チームこくみんうさぎ」はこちら

